

木栄会通信

令和6年第28回木栄会総会に關して

●令和6年第28回木栄会総会に關して
書面開催いたしました木栄会第28回総会に關しまして、会員の皆様のご協力を待ちまして無事に総会を終える事が出来ました。

委任状決議の結果が過半数となり、今次総会は適正に成立いたしました。今後の木栄会については、11月28日に予定しております活動報告会において詳細をご説明させていただきます。

●木栄会協賛創立記念市速報！

11月28日(木)は木栄会協賛創立64周年記念市が開催されます。今回は伊東新社長就任記念市も併せて同時開催いたしますので会員の皆様におかれましてはご来市をお願いいたします。なお、開市時間が17時30分からとなりますのでご注意ください。※市の前に(昼食の時間を設けてお

ります。17時30分よりお弁当を準備しておりますので、お早めにご来場ください。

●活動方針報告会、懇親会について

11月28日(木)18時より今後の活動内容について、総会資料第7号議案でご報告した内容を詳細にご説明いたします。報告会終了後は懇親会を予定しております。皆様には改めてご案内いたしますので、是非ご出席賜りますようお願い申し上げます。

伊東社長 就任記念！

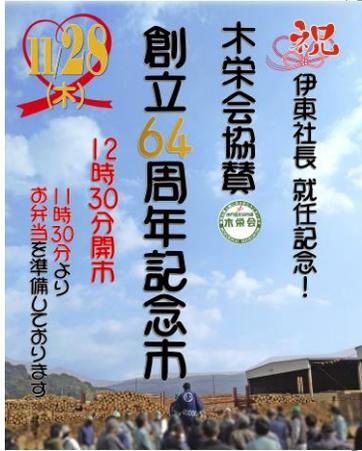
木栄会協賛

創立64周年記念市

12時30分開市

11時30分より

お弁当を準備しております。



Topics 1

『出張とも大工』レポート

去る、9月6日に大英産業株式会社さんが事務局として活動されている、じやばんみらいキッズプロジェクトさんの出張とも大工イベントを見学させていただきました。
「出張とも大工」という活動は、北九州SDGクラブのプロジェクトとして大英産業・大英工務店・桑の実工房の3者が立ち上げられております。住宅端材をアップサイクルした木エキットで子どもたちが大工体験できるイベントを、北九州市内の幼稚園・保育園で開催するといった趣旨で、2021年から継続的に開催されてきております。

今回、弊社は2023年12月に締結いたしました北九州市木材利用促進協定の協定社として、今回見学の機会をいただきました。

今回、見学させていただいたのは福岡県北九州市小倉南区徳力団地にあります認定こども園 徳力団地幼稚園まで開催された出張とも大工



でございます。徳力団地はモノレル駅から近く、日用品の買い物ができる場所も多いなど生活しやすいところです。徳力団地幼稚園さまは開放的な雰囲気のある都会の幼稚園といった趣です。北九州市といえば工業の町といった印象を持つていたのですが、園内や周りは閑静な住宅街でもとても良い環境だと感じました。学生時代、北九州市に住んでいたのですが、このように落ち着いた場所があることは全く知りませんでした。子育てしたい都市のランキングで上位になる理由は、こういうところなのかもしれません。

今回見学させていただいたことも大工では、端材を使った椅子とラフトフレームを子供たちが作っていました。椅子のデザインについて子供時代は椅子として使え、成長しても鞆置きや小物を置けるようなデザインで作ってあることでした。成長しても使いやすいように手形などの記念になるものは、あえて裏側にするなど長く使える工夫にあ



10月号
Vol.135

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木栄会事務局

〒849-0252

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番二〇

TEL 〇九五五-1021-2183 (代表)

FAX 〇九五五-1812-855



ふれていました。フォトフレームは作るだけではなく、その場でデジキ(インスタントカメラ)を使って写真を撮ってもらえます。その場で使えて思い出になる工夫には正直驚きました。

このプロジェクトは、オフィスシャルパートナーとして企業や大学が協賛・協力しており、子どもたちの大工体験のサポートスタッフとしても様々な分野から参加されてきました。様々な分野から参加されている皆様は、参加するごとに楽しくなるといった感想も聞くことができました。初めて見学をさせていただきましたが、このような取り組みは経験がなくとも良い経験ができたと感じております。

山側からも利用しにくい枝や丸太の端材などを出して、都会の方に国産の木材を意識してもらえようという、いくもの面白いかもしれません。

公式のサイトもご覧いただけますので関心のある方はぜひご覧になってください。じゃぱんみらいキッズプロジェクト (https://daiji-pj.com)

木材動向①

◎素材

9月全社素材取扱量は39,700m³。前年比は39.7%と先月に続き今年一番目に少ない取扱量となりました。9月は残暑の影響で未だに九州エリア全体の出材量が少なくその影響が原木価

格に反映された結果となり、しばらくは原木価が続くと考えられます。

27日市での杉丸太販売価格は、

4m16~18cm直 21,110円/m³

4m16~18cm小曲 20,800円/m³

4m20~22cm直 21,800円/m³

4m20~22cm小曲 20,800円/m³

0円/m³と11日市より値上がりしております。

松元木の最高落札額は、岩崎林業様(出荷の4m34cm 29,680円/m³でした。

杉丸太の販売価格は、

4m14~16cm直 16,000円/m³

4m18~22cm直 15,000円/m³

4m18~22cm小曲 13,000円/m³

4m24~28cm直 15,000円/m³

4m24~28cm小曲 13,000円/m³

4m24~28cm直 15,000円/m³

4m24~28cm小曲 13,000円/m³

と横ばいを維持しております。杉元木の最高落札額は南部森林組合 諫早支所様(出荷の4m46cm 14,600円/m³でした。

杉松とも、ご出荷、ご購入誠にありがとうございました。

出材状況として、10月に入り各出荷者様の搬出準備が整い、徐々に出材が増えてきております。まだ購入者様が満足出来る量を供給出来ていない状況にありますので、杉松ともに価格好調のまま維持すると考えられますので、引き続きご出荷のほどよろしくお願い致します！

10月も気合を入れて集荷販売いたしますが、11月には弊社代表取締役伊東の社長就任記念 木栄会協賛創立

64周年記念市が控えており、早々に企画準備の方を進めております。各担当よりお客様へ案内に伺いますので、11月28日のご来市心よりお待ちしております。

造材につきまして杉松ともに基本的に4mをおすすめしております。未だ余尺の長短がございます。余尺10cm程度での造材をお願いいたします。

また、優良材の元木については余尺が+20cm~30cmあった方が高値販売しやすいので、ご協力のほどよろしくお願いたします。

造材について不明な点などございましたら、素材部へお問い合わせいただきますようお願いいたします。

素材部一同 安定供給 安定販売を努めてまいりますので、より一層のご協力のほどよろしくお願申し上げます。(本社素材部 1)

◆製品

全面での需要面では住宅着工が増加し、着工をけん引しているのはマンションで持ち家も若干ではありますが回復してきています。プレカット工場の稼働も大手中心に忙しさを増してきているものの、台風などの悪天候もあり現場の遅れが出てきています。製材工場は、9月に入りプレカット工場の稼働が増加したこともあり、多少ではあります。荷の動きが出てきて、こちらは多少ではありますが在庫も減少してきています。単価についてはなかなか厳しい

状況が続いています。また、供給については、住宅需要が出てきたものの、全体的に当品買いがまだ多い状況です。プレカット工場向けで出荷が増加しましたが品薄や単価の動きはないです。

9月の当市場の相場は、

ヒノキGR土台1等上 4m105X

105 50,000円/m³ 55,000

0円/m(前月比横ばい)、ヒノキGR

土台1等上 4m120X120 52,

000円/m³ 58,000円/m(前

月比横ばい)、ヒノキKD土台A 4m1

05X105 70,000円/m³ (前

月比横ばい)、

スギGR母屋角1等上 38,000円

/m³ 40,000円/m(前月比横

ばい)、スギKD母屋角特1 36,000

円/m³ 68,000円/m(前月比横

ばい)、スギGR平角特1 4m105X

150~180(20厚同) 40,000

円/m³ 42,000円/m(前月比

横ばい)、スギKD平角特1 4m10

5X150~180(120厚同) 65

000円/m³ 70,000円(前

月比横ばい)、スギGR小曲 30X4

5、45X45、45X60(特1)プレ

1 48,000円/m³ 53,000円

/m(前月比横ばい)、スギGR間柱

30X105、45X105(特1)プレ

1 50,000円/m³ 56,000

円/m(前月比横ばい)、スギ野地板

2m12X小幅30,000円/m³ 3

3,000円/m(前月比横ばい)、ス

ギKD柱 3m105X105 A台70

000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD間柱(30X105、45X105)67,000円/㎡、72,000円/㎡(前月比横ばい)、スギAD間柱(30X105、45X105)62,000円/㎡、64,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD小割(30X45、45X45、45X60)8,000円/㎡、75,000円/㎡(前月比横ばい)となっております。

市況の足かせになっているのは国産材製品で、需要が低迷し価格も競合する外材や構造用集成材との価格差で割安感があっても、なかなか需要者に選んでもらえない状態が続いています。桧土台が米ツガ注入土台より安値になつてきて、ようやく需要も底打ち感がでています。杉KD柱や杉間柱も、まだ需要回復には至っていない状況です。

最後になりますが、11/28(木)に社長就任記念木栄会協賛創立64年記念市を開催いたします。是非とも御来市の際を宜しく願っています。

(製団建設部 U)



大分営業所の9月の取扱量は6,000㎡、内ハイオマが1,000㎡ありました。もうこの時期は取扱量が少ないのですが、今年には前年比マイナス20%となりました。原因としては、連日の猛暑で伐採量が減つたこと、山から直接ハイオマス関連の破碎ヤードに行ったこと、また山から直接原木輸出による港に行ったこと

が考えられます。大分県では7月頃から原木単価の下落があり、一時は小曲で11,000円を割ることもあり、山から直接の輸出やハイオマス関連に流れたのだと思われま。

9月の市況

- スギ4m11~13cm直12,500円/㎡、14~16cm直17,000円/㎡、小曲14,500円/㎡、18~22cm直15,000円/㎡、小曲13,000円/㎡、24~30cm直15,000円/㎡、小曲12,500円/㎡、32cm直14,000円/㎡、小曲12,000円/㎡、スギ3m14cm直材17,000円/㎡、小曲15,000円/㎡、16~28cm直16,000円/㎡、小曲12,500円/㎡、30cm直14,000円/㎡、小曲12,000円/㎡、ヒノキ4m12~13cm直14,500円/㎡、小曲12,000円/㎡、14cm直17,000円/㎡、小曲19,500円/㎡、16~18cm直17,000円/㎡、小曲20,000円/㎡、20~22cm直21,000円/㎡、小曲20,000円/㎡、24~28cm直21,000円/㎡、小曲20,000円/㎡、24~28cm直21,000円/㎡、ヒノキ3m16~22cm直材17,000円/㎡、小曲20,000円/㎡、24~28cm直材16,000円/㎡、小曲14,500円/㎡

今後は、製品の動きが悪く状況が続く、伐採時期は良くなり出材量が県内全体で増加する見込みですので、市売

りは年末に向けて下がる傾向にあると予想されます。しかし弊社はシステム販売により安定供給を行っておりますので価格は相場に左右されませんが、杉は横ばい単価になりますので引き続き変わらず、協力の程宜しく願っています。

この度は変わりますが、前回大分営業所当番の記事では円安について書きました。今回は製品の輸出の重要性について、簡単ではありますが個人的な意見を書きたいと思えます。国内向け木材需要の低下は、人工減少や物資の高騰で住宅着工数減少に拍車をかけています。非住宅の物件で県産材なども出ていますが、生産量に対し消費量が圧倒的に足りておらず、製品の値崩れや下落につながっていると考えます。

また、原木輸出に関しては、この10年で大きく飛躍したと感じます。日本全国で2023年では160万㎡近くまで達したそうです。しかしながら、杉の原木輸出は海外では強度不足や品質などで、評価が高くなく安値で取引されている状況です。日本の製材加工技術が大がかりな必要と思えます。ウッドショックで分かるように、製品が動けば木材業界が明るい兆しがあると思えます。今までは国内で安定供給でしたが、今後はグローバルな視野で国内外問わず安定供給出来るかがカギになるのではないのでしょうか。

弊社としても視野を広く流通に携わ

ついでいきますので、今後とも協力の程宜しく願っています。

(大分営業所 K所長)



南九州営業所から、日本はどうしましたか？九州も宮崎、大分で地震もあり、また、台風が原因と思われる、竜巻や突風が発生し多大な被害がでました。今では台風よりも線

状降水帯が短時間で発生した方が、被害が大きくなる傾向にあります。国方チャ、県方チャになつて来たのではないのでしょうか？私が南九州営業所に赴任して丸つた3年が経つ、もうつた4年が見えてきました。赴任した当時は右も左も上も下もわからず、路頭に迷っていました。コロナ禍の真っただ中であり行動が制限され何も楽しくありませんでした。そんな中で新たに趣味を見つけた、早く始めたのが登山でした。仕事上、スギ、ヒノキ山には何か所も訪れていますが、ガチの登山は高1の夏の合宿(久住山)以来で、手始めに高千穂の峰(1574m)になんとなくトライしました。が、その30年ぶりの登山が私を登山に没入させました。ピジターセンターからスタートし岩尾根を越えて岩の馬の背を渡り、景色を楽しみながら、山頂を目指しました。九州には2000mを超える山頂はありませんが、私はそれに匹敵するように感じました。

木材動向②

住宅着工統計

2024年9月30日発表
8月分、出典：株山田事務所

◆**概況コメント**
●8月の新設住宅着工は、持家・貸家・分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比1.1%の減少となった。



の病気がもです(笑)この記事を書きながらも山に登ったかと思しながら指を走らせました。(南九州営業所 杉人(〇)係長)

高千穂の峰の山頂には誰が設置したのか分からない逆鉾が突き刺さっており、不思議さを醸し出しています。それからと言つと、3ヶ月にひと山、2ヶ月にひと山、1ヶ月にひと山と段々と登山に行くペースが上がってしまい、直近では月に4〜6山位登らないと体が怠けてしまうような感覚になってしまいました。今まではソロが多かったのですが、山友も出来、非公認ではあるが、社内メンバーを中心にライングループを作成したりして、勢力を伸ばしつつあります。登山ははじめはキツイですが、慣れてくれば体も絞れますし、筋肉もつきますし、なにより自分と向き合えます(笑)なぜ、こんな苦しい思いをしてまで登らなければならないのか?と毎回おもいますが、やめられないのです。ある種の

全国工法別	木造	在来	2×4	木質Jレハ7
戸数	39,722	30,315	8,320	1,087
前年同月比	-3.6%	-6.0%	4.3%	12.6%

●木質工法別に見ると、前年同月比で木造が3.5%の減少、在来軸組が6.0%の減少、ツーバードが4.3%の増加、木質プレハブが1.2%の増加となつた。

全国利用関係別	分譲			分譲	戸建
	合計	持家	貸家		
戸数	66,819	19,597	28,939	17,240	7,501
前年同月比	-5.1%	-6.6%	-1.4%	-12.0%	-5.0%

九州地区と佐賀県の在来軸組及び2×4着工戸数

●8月の九州地区の新設住宅着工数は、6,900戸で前年同月比で7.1%増、佐賀県は4,29戸16.6%増、長崎県は512戸、9.2%増となった。

●木質工法別にみると、木造住宅2×4、在来軸組について、

- ◎九州地区 4,125戸(3.6%減、791戸(1.9%増)、3,200戸(8.3%減)
 - ◎佐賀県 2,74戸(9.3%減、55戸(1.7%増)、215戸(4.7%減)
 - ◎長崎県 3,25戸(17.9%減、38戸(18.8%増)、281戸(20.8%減)
- ※(内)は対前年同月比

編集後記

◎曇りも和らぎ、秋めいてきました。スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋：などという言われなくなりましたが、気温も落ち着き活動しやすくなりました。スポーツの秋、佐賀県では「国スポ2024 真つた大中です。国体から名称が変わって初めての大会で、大変なことたくさんあったと思いますが、佐賀県がはじまりの地になったのは、荣誉あることだと思えます。佐賀県に足を運んでほしいですが、国スポチャンネルですべての競技が無料配信されているのでぜひ「観」ください!

さて、読書の秋。この時期になると読書週間のポスターを見かけます。読書の秋と言われるからなのかと思いきや、その歴史は古く、1924年の「図書週間」から始まり、1947年の戦後までもない時期に、読書の力によって、平和な文化国家を作ろうという志のもと、出版社や取次会社、書店、公共図書館を中心に、新聞社や放送局なども協力して開催され、今に続いていこうとする中で、今年(10月27日から11月9日)の週間は、電子メディアの発達で昨今本屋さんも減って、二本の形態も変わりつつあります。一般的に定義するならば本は印刷物となっていますが、画面で読もうが、紙で読もうが、本は本ーだと思えます。今年の標語「この一行に逢いにきたの」にわくわくする本に出逢えればーと思えます。何を手に取ったらいかがかわからないという方は、「読書週間」で検索すると(公社)読書推進運動協議会のサイトにおすすの本がありますので、一度サイトをご覧くださいー!

十月二十八日(月) 秋祭り特別市

11月の市のご案内
11/11 素材FAX入札

11/28 木栄会協賛 創立64周年記念市

